

SAITAMA CITY HOSPITAL

さいたま市立病院



市長挨拶

さいたま市立病院は、昭和28年9月に浦和市立伝染病院として開設以来、平成元年11月には総合病院として運用を開始し、平成13年5月にさいたま市立病院と名称変更を行い、60年以上にわたり地域の基幹病院として運営してまいりました。

その間、平成3年4月には、厚生省地域医療連携推進モデル事業として地元医師会のご協力をいただきながらの病診連携の開始や、平成13年10月の地域周産期母子医療センターの併設、平成19年1月には地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、平成29年10月には地域医療支援病院として承認されました。また、第二次救急医療施設として救急医療の対応などを行い、地域の医療機関と密接な連携を保ちながら、市民の皆様の病院として、安心・安全の確保に努めてきたところです。

新病院を建築するにあたり、救急医療の充実や急性期医療機能の向上、地域がん診療連携拠点病院としての更なる充実、周産期・小児医療の強化や感染症への対応、地域連携の機能強化、災害拠点病院としての機能整備等、医療機能の強化及び療養環境の向上を図り、市民の皆様が可能な限り地域で必要な医療を受けることができる「地域完結型医療の要」としての役割を実現すべく整備を進めてまいりました。

今後も、さいたま市立病院は、政令指定都市さいたま市が運営する唯一の市立病院として、さらに市民の皆様から信頼される病院を目指し、皆様の健康保持に必要な質の高い医療を提供すべく努力し続けてまいります。皆様方におかれましては、なお一層のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



市長 清水 勇人

PHILOSOPHY

理 念

患者さんを尊重し、信頼される病院を目指す。

科学的根拠に基づいた質の高い医療を提供する。

地域の基幹病院として各医療機関との連携に努める。

POLICY

基本方針

- 患者さんの権利を尊重した医療を提供する。
- 急性期医療を中心に高度な医療を提供する。
- 救急、周産期母子、がん医療を積極的に推進する。
- 地域の病診連携を積極的に推進する。
- 高い技術と豊かな人間性をもつ医療人の育成に努める。
- 自治体病院として経営の健全化に努める。

院長挨拶

当院はさいたま市緑区に位置する、さいたま市が運営する唯一の公立病院です。令和元年12月29日には新病院が開院し、より一層医療機能を充実、強化して運営をしているところです。

新病院の建設にあたっては、安心・安全な医療を提供するさいたま市の拠点として、民間では担えない、高度急性期・急性期や周産期医療等を提供し、市民の皆さまが地域で充実した医療を受けられるよう整備をいたしました。

主な整備の内容は、①救急医療の充実、②高度がん医療の整備、③成育母子医療センターとして、周産期から小児期までの医療を一貫して提供できる体制の整備、④精神科身体合併症病棟の新設、⑤緩和ケア病棟の新設、⑥感染症対策として、一般の患者さんと動線を分離した感染外来や、専用エレベーター、陰圧個室を有する感染症病棟の整備、⑦病棟での動線を考慮した、働きやすい環境の整備です。

2020年3月頃から顕在化した新型コロナウイルス感染症に対しては、入院にあたり新型コロナウイルス感染症の検査をお願いしたり、面会を制限させていただくこととなりました。また、当院は入院患者さんの治療のみならず、発熱外来、市民の皆様や医療従事者のワクチン接種など、職員一丸となって対応してまいりました。このような対応ができましたのも、職員の努力に加え、市民の皆さまのご理解が得られたこと、新病院が開院していたことが大きいと考えております。

医療を取り巻く環境は厳しい状況が続くと予測されますが、当院は、さいたま市の医療を支える中核となるよう、たゆまぬ努力を続けてまいります。引き続き、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



院長 堀之内 宏久

HISTORY

沿革

| | | |
|-------|--------|-------------------------------------|
| 昭和28年 | 9月 1日 | 浦和市立伝染病院 診療開始 |
| 昭和28年 | 11月14日 | 浦和市立結核療養所開設 |
| 昭和43年 | 10月21日 | 浦和市立結核療養所を浦和市立北宿病院に名称を変更 |
| 昭和47年 | 7月 1日 | 浦和市立北宿病院を浦和市立病院に名称を変更 |
| 平成元年 | 11月 1日 | 総合病院として運用開始 |
| 平成3年 | 4月 1日 | 開放床開設、病診連携室設置 (厚生省地域医療連携推進モデル事業) |
| 平成4年 | 4月 1日 | 臨床研修指定病院に認定 |
| 平成11年 | 4月 1日 | 第二種感染症指定医療機関の指定 |
| 平成11年 | 11月16日 | 県内公立病院初のトリアージ訓練を実施 |
| 平成13年 | 5月 1日 | さいたま市立病院に名称変更 |
| 平成13年 | 11月 1日 | 地域周産期母子医療センターの認定 |
| 平成15年 | 11月30日 | さいたま市立病院開設50周年記念式典挙行 |
| 平成19年 | 1月31日 | 地域がん診療連携拠点病院の指定 |
| 平成19年 | 2月 8日 | 災害拠点病院の認定 |
| 平成25年 | 6月20日 | 平成25年度自治体立優良病院両協議会会長表彰受賞 |
| 平成26年 | 6月19日 | 平成26年度自治体立優良病院総務大臣表彰受賞 |
| 平成29年 | 10月25日 | 地域医療支援病院の名称使用の承認 |
| 令和元年 | 12月29日 | さいたま市立病院新病院(本館・別館)開院 |
| 令和2年 | 12月 1日 | 救命救急センターの指定 |

重症救急患者の受入体制拡充、 さいたま市救急医療体制のさらなる充実

令和2年12月1日に、埼玉県内9か所目となる救命救急センターを開設しました。

重症・重篤な救急搬送傷病者に対応する初療室と、救急病床20床（ICU6床・HCU14床）、後方病床7床の運用を行っています。



救急外来受付



救急外来 初療室

急性期医療機能の強化、 地域がん診療連携拠点病院としての整備

当院は、地域がん診療連携拠点病院として指定されており、専門的ながん医療の提供、がん診療の地域連携協力体制の構築、がん患者・家族に対する相談支援及び情報提供等を行っています。



手術室

臨床工学部門と透析部門、手術部門、ICU、HCUがワンフロアに集約されているため、高度集中治療機能が連携し、迅速・確実な滅菌機材搬送、効率的な医療機器管理をすることができます。



ダビンチ

内視鏡下手術を支援するロボットです。患者さんの負担が少ない内視鏡下手術の特徴と人間以上に繊細なロボットの動きを併せ持っています。



リニアック

「Linear accelerator リニアック」は、日本語では「直線加速器」といわれ、主にがんの治療に使われる放射線治療機器です。



サイバーナイフ

X線を使った放射線治療機器の一種で、腫瘍にピンポイントで照射することに特化した装置です。



緩和ケア病棟

苦痛緩和のための緩和ケア病棟（20床）を有しています。



がんサロン

がん患者さんやご家族の相談室やがんサロンを有しています。

24時間体制でハイリスク妊婦から、胎児異常、新生児、母体救急まで一貫した高度な周産期医療の提供

当院の地域周産期母子医療センターでは、妊娠中から入院を必要とするハイリスク妊婦、早産等で産まれた新生児を管理するための高度な医療設備を整備しています。また、地域の医療機関と連携しながら、母体搬送や新生児搬送の受け入れを行い、妊産婦から新生児へと一貫した成育母子医療センターとしての高度な医療を提供しています。



周産期センター外来

地域周産期母子医療センター（産科病棟（分娩室・陣痛室・周産期手術室）、NICU、GCU、外来等）と小児病棟がワンフロアに集約されています。



陣痛室



周産期センター外来

NST（ノンストレステスト）に使用する部屋です。



LDR 室

陣痛室・分娩室・回復室が一体となった個室です。



新生児室



ファミリールーム

赤ちゃんをご家族がご自宅での生活をイメージして過ごすための部屋です。

利便性を考慮した機能整備・療養環境の向上

- 感染外来の新設、感染専用エレベーターの設置
※感染外来と感染・結核病棟と直結した専用エレベーターを設置し、一般患者とは隔離し、感染症への対応を強化しました。
- 陰圧個室の増室
※陰圧個室とは室内を陰圧にすることにより隔離し、病原菌を封じ込めて、他へ汚染が広まるのを防止します。
- 免震構造の採用
- 非常用発電機の容量拡張
- 変電所からの電気引き込みを2系統に変更
- 地下水による飲料及び生活用水の確保
- アメニティやプライバシーに配慮した施設整備
- ユニバーサルデザインによる施設整備
- 業務の効率化を図る搬送システムの導入（トレイライナー）



感染外来受付



病室（特別室）6階



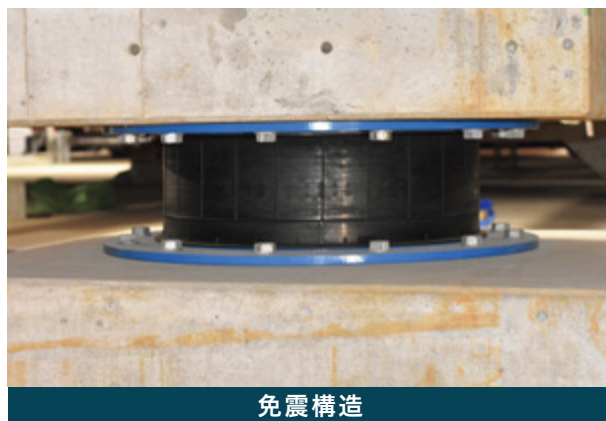
病棟スタッフステーション／6・7・8階



病室（4人部屋）／6・7・8階



搬送システム



免震構造

市民から信頼され、 安心して暮らせるさいたま市のシンボル

敷地面積 48,789.18㎡

建築面積 9,012.39㎡

階数 病院本館 地上10階
別館 地上3階

標榜診療科

内科・消化器内科・呼吸器内科・精神科・脳神経内科・循環器内科・小児科・新生児内科・外科・消化器外科・血管外科・呼吸器外科・整形外科・リハビリテーション科・脳神経外科・心臓血管外科・小児外科・皮膚科・形成外科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・歯科口腔外科・放射線診断科・放射線治療科・麻酔科・救急科・病理診断科・緩和ケア内科

許可病床数 637床



エントランス (1階)



患者支援センター (1階)



キッズルーム (1階)



外来受付 (1階)

フロアマップ

| スロープ棟 |

病院本館

| 別館 |

| | | | |
|------|--------|--|-----------|
| 10 F | | 機械室 | |
| 9 F | | 一般病棟 (緩和)、機械室、レストラン、屋上庭園 | |
| 8 F | | 精神科身体合併症病棟、感染症病棟、結核病棟、一般病棟 | |
| 7 F | | 一般病棟、無菌室、開放病床 | |
| 6 F | | 一般病棟 | |
| 5 F | | 一般病棟 (小児科)、周産期センター外来、NICU・GCU、分娩、一般病棟 (産科) | |
| 4 F | | 透析、臨床工学部門・中央材料室、手術、HCU、ICU | |
| 3 F | | 管理、医局、講堂、外来、リハビリ、化学療法、売店 | 管理 |
| 2 F | | 栄養管理、薬剤、外来、検体検査、生理検査 | 管理 |
| 1 F | 災害備蓄倉庫 | 一般病棟 (救急)、救急、ICU、感染外来、エントランス、患者支援センター、内視鏡、放射線診断、カフェ、キッズルーム | 放射線治療/核医学 |



診察室 (2・3階)



外来待合室 (2・3階)



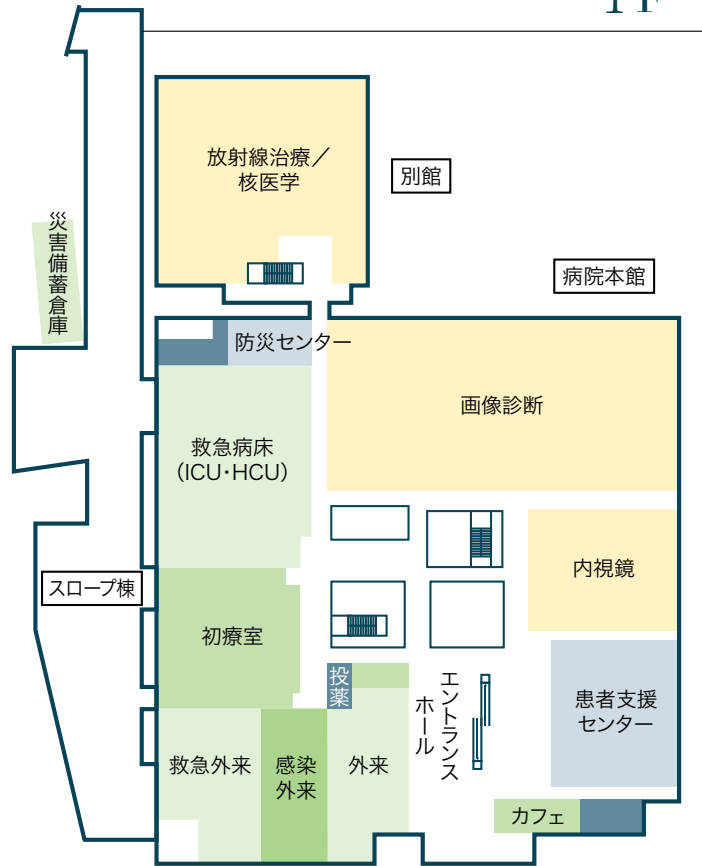
外来待合室 (2・3階)



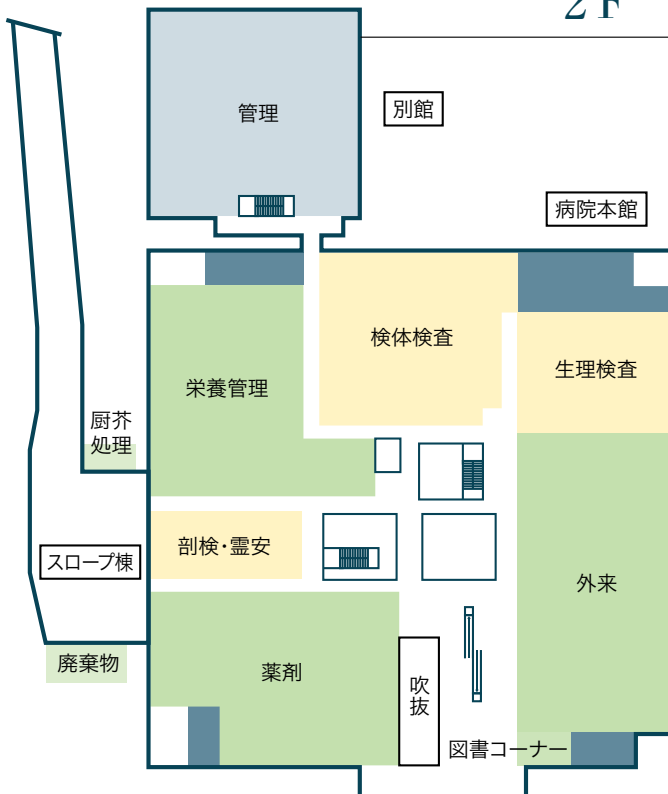
アセンブリーホール (3階 講堂)

フロアマップ (1~3階)

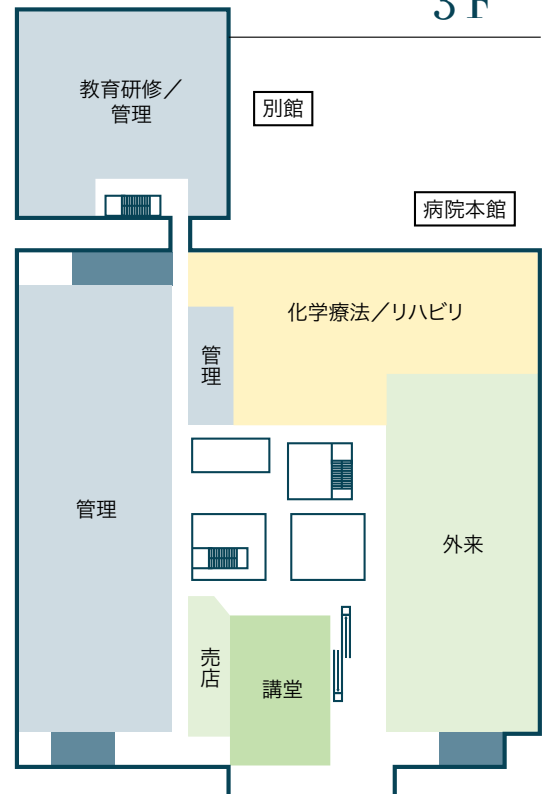
1F



2F

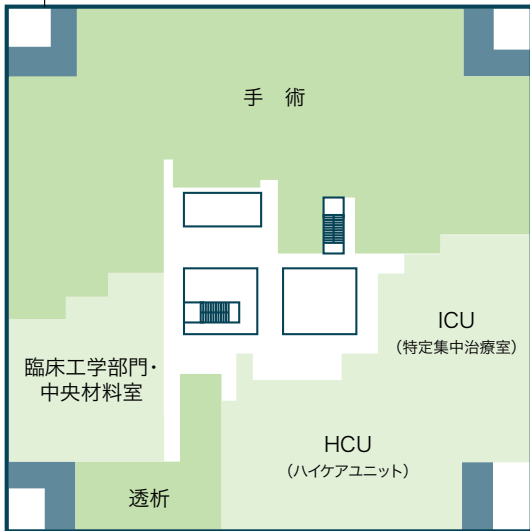


3F

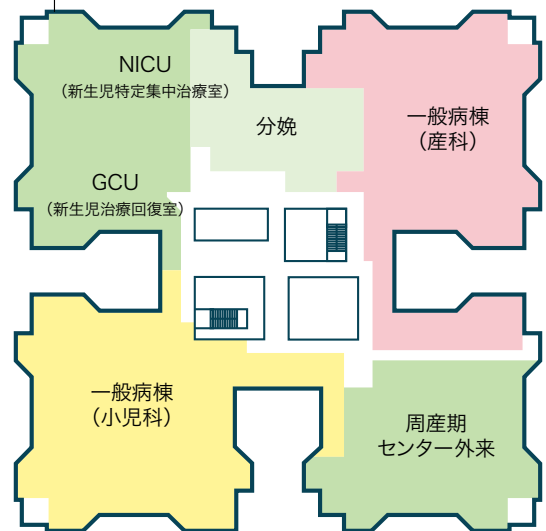


フロアマップ (4～9階)

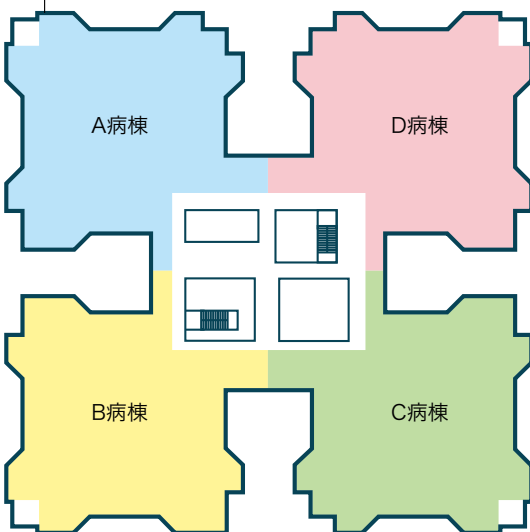
4F



5F



6F 7F 8F

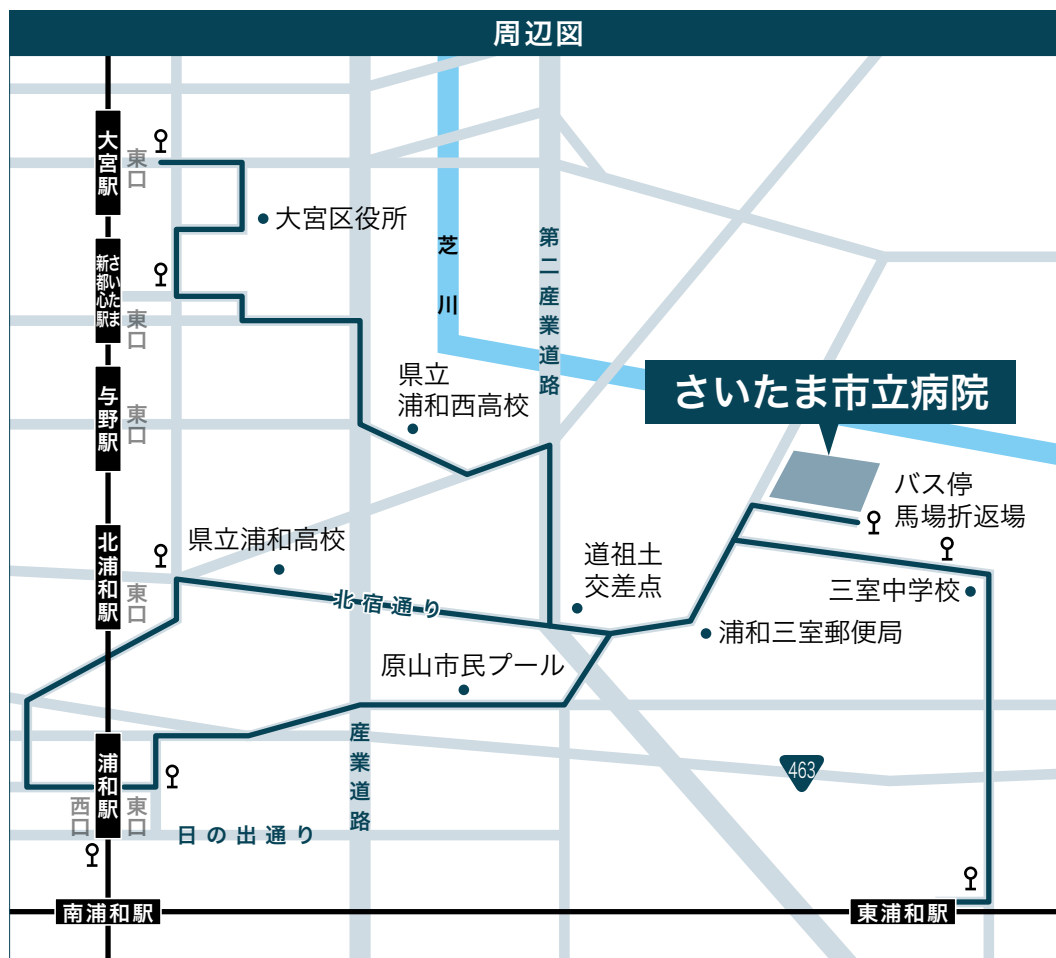


9F



8階 A 病棟：精神科身体合併症病棟
 8階 B 病棟：感染症病棟・結核病棟

アクセス



■ バスでのご来院方法

JR 北浦和駅

東口 東武バス「さいたま市立病院」行き終点下車(約 15 分)

JR 浦和駅

東口 国際興業バス「南台」行き「市立病院」下車(約 20 分)
西口 東武バス「さいたま市立病院」行き終点下車(約 25 分)

JR 東浦和駅

国際興業バス「馬場折返場」行き終点下車(約 15 分)
国際興業バス「市立病院」行き終点下車(約 20 分)

JR さいたま新都心駅

東口 東武バス「さいたま市立病院」行き終点下車(約 30 分)

JR 大宮駅

東口 東武バス「さいたま市立病院」行き終点下車(約 40 分)

■ 車でのご来院方法

第二産業道路/県道 1 号経由

「道祖土」交差点を東へ 北宿通り 約 1.6km

岩槻 IC 経由

国道 122 号経由 約 11.1km



駐車場 / 312 台 無料

駐車台数に限りがあるため、なるべく公共交通機関をご利用ください。



ホームページ / <https://www.city.saitama.jp/hospital/index.html>